

JMRAにおける持続可能なインターネット調査に向けた取り組み

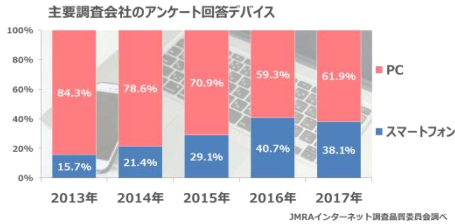
回答品質向上のための「調査分割法」の検証

あなたの中に未来がある。

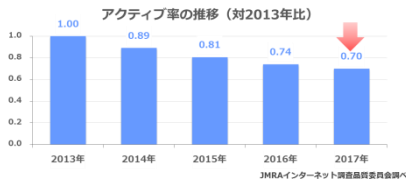
JMRA 一般社団法人 日本マーケティングリサーチ協会

インターネット調査品質委員会 岸田典子・村上智章・加藤宏

■ ネットリサーチの回答デバイスの変化



■ モニターのアクティブ率の低下



■ JMRAインターネット調査品質委員会の活動

調査会社間の枠を超えた情報共有

業界機関誌での情報発信



『インターネット調査品質ガイドライン』の策定 (2017.11)

- ① 調査対象者を大切に
- ② 調査協力しやすい調査票を設計する
- ③ 時代に応じたインターネット調査を実施する



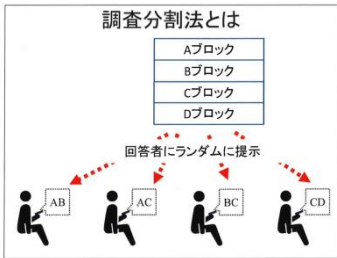
インターネット調査品質ガイドライン

スマートフォンでも回答しやすいコンパクトな調査票を推奨
では既往の大ボリュームの調査はどうすればいいのか



■ 調査分割法とは？

- 同一回答者に対して聴取したい調査票を、複数に分割する
- 回答者を複数のグループ用意して、各回答グループに一部の質問群 (ブロック) のみを回答させることで調査全体としては、1本の調査票として集計・分析が可能にする



出典: 慶応義塾大学 星野崇宏教授 JMRAアニュアル・カンファレンス2017「調査分割法の紹介」

■ JMRAで企画した実験調査

- ① 統制: 全ブロック (50問) + 属性 (5問) を回答
 - ② 分割: 対象者 5グループ。各グループは2ブロック (20問) + 属性 (5問) を回答
- ⇒ ①と②の回答行動や回答結果を比較検証

調査日: 2018/5/9(水)~6/4(月)
調査対象: ネットリサーチモニター (インテナー)
対象者条件: 全国男女20~69歳 (性年代均等割付)

	検証①統制 全ブロック回答	検証②分割				
		Group1	Group2	Group3	Group4	Group5
【Block1】 コンビニ	10問	○	○			○
【Block2】 ファミレス	10問	○	○			
【Block3】 テーマパーク	10問	○		○	○	
【Block4】 お茶飲料	10問	○			○	○
【Block5】 携帯・スマホ	10問	○				○
属性	5問	○	○	○	○	○
質問数	55問	25問	25問	25問	25問	25問
回収数	400s	200s	200s	200s	200s	200s
計1,000s						

質問内容例

質問内容	コンビニ (Block1)	
	質問内容	質問形式
Q1	純粹想起	OA
Q2	利用経験	MA
Q3	利用サービス	MA
Q4	利用意識	SA7桁 (10x5)
Q5	イメージ	MA7桁 (10x11)
Q6	重視度	SA7桁 (10x5)
Q7	最頻利用	SA
Q8	満足度	SA (6段階)
Q9	満足度理由	OA
Q10	推奨度	SA (11段階)

■ 調査分割法のメリット



回答者の所要時間が短縮できる

⇒ 回答意欲、回答への集中力の維持
パネル継続意向の維持

	回答時間	PC回答者	スマホ回答者
	中央値(分:秒)		
検証①統制 55問	20:25	19:40	21:18
検証②分割 25問	8:39	8:11	8:59



いい加減回答の抑止につながる

⇒ マトリクス設問の回答品質の向上

調査票の前半

【Block1】 コンビニ	検証①統制 検証②分割	11.8%	13.1%
【Block2】 ファミレス	検証①統制 検証②分割	13.5%	14.6%
【Block3】 テーマパーク	検証①統制 検証②分割	14.5%	8.7%
【Block4】 お茶飲料	検証①統制 検証②分割	10.5%	6.0%
【Block5】 携帯・スマホ	検証①統制 検証②分割	14.2%	11.3%
属性	検証①統制 検証②分割	9.5%	7.9%

SAマトリクス
ストレート回答者
発生割合

【Block1】	11.8%
【Block2】	13.5%
【Block3】	14.5%
【Block4】	10.5%
【Block5】	14.2%
属性	9.5%

MAマトリクス
短時間 (15秒以内)
回答者 発生割合

【Block1】	7.9%
【Block2】	10.0%
【Block3】	9.7%
【Block4】	11.3%
【Block5】	9.5%
属性	8.1%
【Block1】	15.8%
【Block2】	8.0%
【Block3】	14.4%
【Block4】	12.6%
【Block5】	14.4%
属性	12.6%



回答途中での脱落者が減少する

⇒ 未回答バイアスの軽減

	回答途中脱落者の割合
検証①統制 55問	9.4%
検証②分割 25問	6.1%